

令和4年度 こども園（保育園）関係者評価  
施設評価シート  
子育てセンターにじいろ

**こども園（保育園）関係者評価委員会による評価**

対象評価： 最終評価  
評価日時： 令和5年 2月 24日（金） 10:00 ~ 11:00

**【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】**

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

**【園の教育・保育目標】**

「いいとこ みっけ」  
～わたっていていいな あなたもいいね じぶんできめる みんなのために～

**【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した  
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】**

今年開園したにじいろは、袋井市の公立3園を統合民営化し幼保連携型認定こども園としてスタートいたします。それぞれ環境が違う中で育ってきた子どもたちや、開園時の揃った職員体制の中で、一人ひとりが当園の教育・保育目標「わたっていていいな あなたもいいね じぶんできめる みんなのために」のもと教育・保育を進めてまいります。私っていていいなと思える気持ちを大事に、子どもにとって、職員にとって、尊厳を守った保育と4つの承認（存在・意欲・行動・成果）に気づき大勢の人との関わりの中でたくさんいいところや素敵なおところに気づけるよう、内部研修に主体的に参加し職員個人の得意分野・知識を職員に発表する機会を工夫して創りだし保育の質の向上につなげ、保育の実践の中で教育活動につなげていきます。

**【評価基準について】**

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
<b>I. 目標の理解</b> 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	○開園前の事前研修で、丁寧に説明を受け理解ができた。 ○厚生会としてグランドデザインが統一されているため分かりやすい。 ○玄関に掲示してあり、目につくため意識ができる。 ●理解はしているが、指導計画に活かしているか自信がない。	4	・初めての園であるため保護者からの意見も厳しいが、それ以上に多くの温かい言葉もあったので自信を持って園の活動してほしい。 ・静岡県のこども園の事件が報道され、保護者から園に求めることが多い。「にじいろ」として胸をはって職員一丸となってほしい。
<b>II. 教育・保育の計画性と内容</b> 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	○広い園庭を活かし、年間を通して戸外で十分に身体を動かし活動できた。 未満児用の園庭があり、小さい子も安心して戸外で活動できた。 ○初めてリズムを経験する中で、ピアノの音に合わせて身体を動かす心地よさ表現する楽しさを味わうことができた。 ○クラスの担当を超えて子どもの情報を共有し、子どもの育ちの支えや家庭との連携につなげた。 ●初めて計画、実行する活動や行事が多く、見通しもって進めることが難しかった。連続性を意識した指導計画の立案が不十分であった。 ●毎日子どもと過ごすことに精一杯になり、保育室の環境設定への工夫が不十分であった。今後子どもの興味関心が広がり、主体的な遊び、生活の姿が引き出される環境作りを考えていく。	3	・開園1年目とは思えないほど安定感があった。ハタハタとしている様子も感じられなかった。2、3年目はもっと素晴らしい園になると感じる。

<p><b>Ⅲ. 子どもにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. そのらしさが認められる</li> <li>2. ゆったりとした生活</li> <li>3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ</li> <li>4. いろいろな人の中で自分を知る</li> </ol>	3	<p>○「いいとこみっけ」は、子ども、保護者、職員が自分らしさを認められる取り組みとなった。</p> <p>○職員会議で園内の気になる子の姿を共有し、園全体で見守り支援する体制作りができた。</p> <p>○職員が子ども一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、愛情をもって関わることで子どもたちが新しい園生活に慣れることができた。</p> <p>●開園1年目で、学年の関りが中心になり、異年齢の関りが少なかった。</p> <p>●職員が園周辺の自然環境の把握が不十分で、環境を活かしきれず、子どもの体験につながらなかった。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつ見学をしても子どもたちが生き生きとしていた。職員の関係性の良さも感じる。</li> <li>・不審者対応など社会的に敏感になっている。自由に園内に入れてしまう安全面について、今後どのように対応していくか、アンテナを高く持ち考えていってほしい。</li> </ul>
<p><b>Ⅳ. ファミリーにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気軽に相談できる</li> <li>2. いつでも保育に参加できる</li> <li>3. 必要な情報が得られる</li> <li>4. 保育を通して地域に親しむ</li> </ol>	3	<p>○保護者からのご意見は園長から職員全体に伝えられ、職員の接遇マナーの意識が変わってきている。</p> <p>○明るいあいさつを心掛けることが、子ども保護者、職員同士のコミュニケーションに役立っている。</p> <p>○月1回必ずブログの更新を行い、子どもの様子を知らせることができている。ブログを通して自分の子ども以外の学年の様子を知ることができる。</p> <p>●担任として個々の様子を伝えているつもりだが、保護者からはもっと様子を知らりたいとの要望がある。</p> <p>●開園1年目で、地域との関りはまだ少ない。今後保護者のボランティア活動なども広げていきたい。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの中で職員の挨拶を気にかけている保護者が多いと感じた。何かをしていて保護者が目に入らない時やタイミング合わない時などもある。すべての保護者に伝わることは難しい。</li> </ul>
<p><b>Ⅴ. 地域にとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 誰でも親しく訪ねられる</li> <li>2. 園の内容がよくわかる</li> <li>3. 緊急の時頼りになる</li> <li>4. 子育てに夢がもてるように</li> </ol>	3	<p>○そよかぜ（児童発達支援）や支援センターが園に併設されていることで、利用者が相談しやすい環境になっている。相談後に連携し、入園や療育につながっている。</p> <p>○支援センターを利用する親子が、常に園内の子どもたちの姿を見ることができるとは、我が子の成長や園生活に見通しを持ち楽しみにする機会となっている。</p> <p>●支援センターを利用する親子が園の行事や活動と一緒に参加する機会を検討していく。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で畑を借りるなど地域を巻き込んでいくことで園への関心が高まる。園周辺に市が貸し出している畑があるので、そのような所を使用していくことも検討されるとよい。</li> </ul>
<p><b>Ⅵ. スタッフにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個性が生かされる</li> <li>2. 快適な職場づくり</li> <li>3. 生活や遊びの文化が伝えられる</li> <li>4. 視野を広げて自ら学ぶ</li> </ol>	4	<p>○自分の得意なことを業務に活かせる環境になっている。</p> <p>○様々な経験をもった職員がおり、保育の工夫、子どもの関わり方等、学ぶことが多くある。</p> <p>○職員同士思いやりを持ち、大変な時にはフォローし合える関係作りができ、保育に活かされている。</p> <p>●職員数が多く、報連相、情報の共有が難しい。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開園に向けての準備が大変だったと思う。すべてが新しい中進んでいくことは大変であったと思う。しかし、チームワークよく進んでいたと思う。</li> </ul>